

C-17

|  |                                 |         |
|--|---------------------------------|---------|
| 出展団体名  | 国立大学法人 弘前大学                     |         |
| 発表者所属  | 農学生命科学部                         |         |
| 発表者氏名  | 城田安幸                            |         |
| 発表タイトル   | 免疫力を高める、未熟果実入りリンゴジュース「医果同源」     |         |
| ねらい  | [○] ビジネスパートナー探し                 |         |
|  | [○] 共同研究パートナー探し                 |         |
|  | [○] 共同製品開発のパートナー探し              |         |
|  | [○] 所有技術シーズの顧客（ライセンサー）探し        |         |
|  | [○] その他（ ）具体的に「医果同源」の販売社を求めます。  |         |
| キーワード  | ① 免疫力                           | ② りんご   |
|  | ③ 未熟果実                          | ④ 免疫賦活剤 |
| 要 旨（アピールポイント）  |                                 |         |
| <p>(1)リンゴに、中国や日本の冬虫夏草を上回る免疫賦活効果があることを発見。生のりんごをジュースにし、毎日飲用することで、ヒトの癌細胞を最初に攻撃するNK(ナチュラルキラー)細胞が約10%活性されることを明らかにした。</p> <p>(2)市販のリンゴジュースに、ポリフェノールが多く含まれるりんごの未熟果実を25%と50%混入したものの免疫賦活効果を調べた。38名のボランティアを3つのグループに分け、それぞれのグループが、未熟果実量0%、25%、50%のジュースを毎日200ml飲んだ結果、2週間の飲用でNK活性が約10%高まり、5週間の飲用後では未熟果実量に比例してNK活性が高まることが判明。</p> <p>(3)これらの成果をふまえて、未熟果実入りのリンゴジュース「医果同源」を開発。リンゴやナシの成熟果実と未熟果実の両方を用いることで得られる免疫賦活剤の特許を取得(特許第3662248)。「医果同源」も商標として登録。共同研究者及び「医果同源」の販売社を求めている。</p> |                                 |         |
| 特記欄  | 免疫賦活剤の共同開発社、及び「医果同源」の販売社を求めている。 |         |